

1.	③	11.	③	21.	①	31.	②	41.	①
2.	③	12.	②	22.	③	32.	④	42.	②
3.	②	13.	③	23.	①	33.	①	43.	①
4.	①	14.	②	24.	④	34.	④	44.	③
5.	③	15.	④	25.	②	35.	③	45.	②
6.	①	16.	②	26.	④	36.	②	46.	④
7.	④	17.	④	27.	③	37.	①	47.	③
8.	④	18.	③	28.	④	38.	②	48.	①
9.	③	19.	④	29.	④	39.	④	49.	③
10.	①	20.	②	30.	③	40.	③	50.	①

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「腹が痛い」です。`have a stomachache`は、「腹痛がする」という意味の表現です。

`stomach`（胃、腹）と`ache`（痛み）が組み合わさった単語です。`I think I ate something bad. I have a terrible stomachache.`（何か悪いものを食べたみたいだ。ひどい腹痛がする）。①「頭が痛い」は`have a headache`、②「歯が痛い」は`have a toothache`、④「背中が痛い」は`have a backache`です。

◆補足：`-ache`は「痛み」を表す接尾辞で、体の部位を表す単語と結びついて様々な痛みを表現します。このパターンを覚えておくと、語彙を増やすのに役立ちます。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③「(苦痛など)を経験する、苦しむ」です。動詞の`suffer`は、病気、苦痛、損害、悲しみといった、好ましくない状況を「経験する、被る、苦しむ」ことを意味します。`She is suffering from a severe headache.`（彼女はひどい頭痛に苦しんでいる）。①「～を提供する」は`offer`、②「～を提案する」は`suggest`、④「～に成功する」は`succeed`です。

◆補足：`suffer from`～`の形で「(病気など)に苦しむ」と表現することが多いです。また、`suffer`は目的語を直接とる他動詞としても使われます。`The company suffered huge losses.`（その会社は莫大な損失を被った）。名詞形は`suffering`（苦しみ、苦難）です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②の`positive`で、「前向きな、積極的な」または「肯定的な、確信のある」という意味の形容詞です。物事を良い方向に考えたり、良い結果を期待したりする態度を表します。`It's important to have a positive attitude.`（前向きな態度を持つことが重要だ）。他の選択肢は、①`possessive`が「所有格の、独占欲の強い」、③`possible`が「可能な」、④`passive`が「受動的な、消極的な」という意味です。

◆補足：`positive`の対義語は`negative`（否定的な、消極的な）です。`think positive`で「前向きに考える」。医学の文脈では「（検査結果が）陽性の」という意味でも使われます。`The test result was positive.`（検査結果は陽性だった）。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「損害、損傷」です。名詞の`damage`は、物や人の身体、評判などに与えられる、価値や機能を損なうような「害」を意味します。文法的には数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。`The earthquake caused widespread damage.`（その地震は広範囲にわたる損害を引き起こした）。②「危険」は`danger`、③「災害」は`disaster`が適切な単語です。④の`damages`は、`damage`に`s`が付いた複数形ですが、「損害賠償金」という法律用語になり、意味が全く異なるので注意が必要です。

◆補足：`damage`は動詞として「～に損害を与える」という意味でも使われます。`Smoking can seriously damage your health.`（喫煙はあなたの健康に深刻な害を与えることがある）。`do damage to`で「～に損害を与える」というコロケーションもよく使われます。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「（～より）優れた」です。`superior`は形容詞で、品質、能力、地位などが他よりも上であることを示します。`This new model is superior to the old one in every way.`（この新しいモデルはあらゆる点で旧型より優れている）。①「（～より）劣った」は`inferior`で、`superior`の対義語です。②「（～と）似ている」は`similar`、④「（～と）真剣な」は`serious`です。

◆補足：`superior`は比較の対象を示すのに`than`ではなく、前置詞`to`を使います。これは`senior to`（～より年上の）や`prefer A to B`（BよりAを好む）などと同じラテン語由来の比較級の用法です。名詞としては「上司、目上の人」という意味もあります。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①の`get rid of ~`で、「～を取り除く、処分する、捨てる」という意味です。不要な物や、好ましくない習慣、あるいは厄介な人などをなくすことを表します。`It's time to get rid of these old clothes.`（これらの古い服を処分する時だ）。他の選択肢は、②`get tired of ~`が「～にうんざりする」、③`get away from ~`が「～から逃げる」、④`get used to ~`が「～に慣れる」という、それぞれ`get`を使った重要な熟語です。

◆補足：`rid`は「取り除く」という意味の動詞です。`get rid of`は、`remove`や`throw away`と似ていますが、より口語的で、厄介なものを片付けるというニュアンスで使われることが多いです。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の`get over ~`で、「(病気、困難、悲しみなど) を乗り越える、～から立ち直る、～を克服する」という意味です。悪い状態を過ぎ去らせて(`over`)、元の状態に戻る(`get`)イメージです。`It is hard to get over the loss of a pet.`（ペットを失った悲しみから立ち直るのはつらい）。他の選択肢は、①`get on ~`が「～に乗る」、②`get through ~`が「～をやり遂げる、切り抜ける」、③`get away from ~`が「～から逃げる」という意味です。

◆補足：`get over`は、前の問題の`recover from`とほぼ同じ意味で使えますが、`get over`の方がより口語的で日常会話で頻繁に使われます。`It took me a week to get over the cold.`（その風邪を治すのに1週間かかった）。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「(車が) ～をひく」です。`run over ~`は、車などの乗り物が人や動物の上を通り過ぎて「ひく」という意味の句動詞です。`Be careful not to run over the cat.`（猫をひかないように気をつけて）。①「～を経営する」は`run`単体で、②「～に偶然出会う」は`run into ~`、③「～から逃げる」は`run away from ~`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`run over`には「(液体が) あふれる」という意味や、「(時間などが) 超過する」という意味もあります。`The meeting ran over by 20 minutes.`（会議は20分超過した）。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「A を元気づける」です。`cheer A up`は、「A を励ます、元気づける」という意味の句動詞で、`A`には人が入ります。悲しんでいた、落ち込んでいたりする人を、言葉や行動で励まし、明るい気持ちにさせることを表します。`His friends tried to cheer him up after he lost the match.`（試合に負けた後、彼の友人たちは彼を元気づけようとした）。①「A を応援する」は`cheer for A`、②「A を迎えに行く」は`pick A up`、④「A を育てる」は`bring A up`が適切な表現です。

◆補足：目的語が`me`や`him`などの代名詞の場合は、必ず`cheer me up`のように動詞と副詞の間に置きます。また、目的語がなくても`Cheer up!`だけで、「元気を出して！」という励ましの言葉として非常によく使われます。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①の`medicine`で、「薬」または学問としての「医学」を意味します。病気やけがを治すために使うものを指します。`Did you take your medicine this morning?`（今朝、薬を飲みましたか？）。

`He is studying medicine at university.`（彼は大学で医学を勉強している）。他の選択肢は、

②`meditation`が「瞑想」、③`medium`が「中間、媒体」、④`machine`が「機械」という意味です。

◆補足：「薬を飲む」は`take medicine`という表現を使います。`eat`や`drink`ではないので注意しましょう。形容詞形は`medical`（医学の、医療の）です。`a medical school`（医学校）。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③の`person`で、一人ひとりの「人、個人」を指す最も基本的な単語（単数形）です。`Every person has the right to express their own opinion.`（誰もが自分自身の意見を表現する権利を持っている）。他の選択肢は、①`personnel`が「(集合的に) 職員、人事部」、②`personal`が形容詞で「個人の」、④`people`が`person`の複数形で「人々」を意味します。

◆補足：`person`の複数形が`people`である、というルールは非常に重要です。`one person`（一人）、`ten people`（十人）のように使います。法律の条文など、非常に堅い文章では`persons`という複数形が使われることも稀にありますが、日常的には`people`を使います。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の`bring A to B`で、「A を B へ持ってくる、連れてくる」という意味です。`bring`は、物や人が話し手や聞き手のいる場所へ「近づいてくる」動きを表します。`Please bring your report to my office.`（私のオフィスにレポートを持ってきてください）。他の選択肢は、①`take A to B`が、物や人が話し手から「離れていく」動き（持っていく、連れていく）を表します。③`send A to B`は「～を送る」、④`carry A to B`は「～を運ぶ」という意味です。

◆補足：`bring`（持ってくる）と`take`（持っていく）の使い分けは、英語の基本的な空間認識に関わる重要なポイントです。聞き手がいる場所へ向かう場合は`bring`、聞き手から離れる場所へ向かう場合は`take`を使うと覚えておきましょう。活用は`bring - brought - brought`と不規則に変化します。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「特別な」です。`special`は形容詞で、普通とは違う、特別扱いされる、あるいは特定の目的のためのものであることを示します。`This is a special occasion for our family.`（これは私たちの家族にとって特別な行事です）。①「特に」は副詞の`especially`や`particularly`、②「空間の」は`spatial`、④「(生物の) 種」は`species`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`specialty`（専門、得意料理）、動詞形は`specialize`（～を専門にする）です。`special`の類義語に`particular`がありますが、`special`の方がより「普通ではない、独特な」というニュアンスが強いです。`a special price`（特別価格）、`special effects`（特殊効果、SFX）。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の`wheelchair`で、「車いす」を意味します。`wheel`（車輪）と`chair`（いす）が組み合わさってできた単語です。`The new building is equipped with wheelchair ramps.`（その新しい建物には車いす用のスロープが備え付けられている）。他の選択肢は、①`wheelbarrow`が工事現場などで使う「(一輪の) 手押し車」、③`armchair`が「ひじ掛けいす」、④`chairlift`がスキー場の「チェアリフト」という意味です。

◆補足：`a wheelchair user`（車いす利用者）、`wheelchair accessibility`（車いすでの利用しやすさ）、`be in a wheelchair`（車いす生活である）。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④の`on one's way home`で、「家に帰る途中で」という意味です。`one's`の部分には`my`, `your`, `his`などの所有格が入ります。`I stopped by the supermarket on my way home.`（私は家に帰る途中でスーパーマーケットに立ち寄った）。他の選択肢は、いずれも文法的に不自然な表現です。

◆補足：`on one's way to` + 場所`で「～へ行く途中で」となりますが、`home`は副詞として「家へ」という意味を持つため、前置詞`to`は不要です。`on my way to the library`（図書館へ行く途中）と`on my way home`（家に帰る途中）の`to`の有無に注意しましょう。`I'm on my way.`で「今向かっているところです」という定番のフレーズになります。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②「間違えて、誤って」です。`by mistake`は、意図したわけではないが、うっかり間違いを犯してしまった状況を表す熟語です。`I think I took your notebook by mistake.`（間違えてあなたのノートを持ってきてしまったようです）。①「わざと、故意に」は`on purpose`で、`by mistake`の対義語です。③「偶然に」は`by chance`、④「確かに」は`for sure`が適切な表現です。

◆補足：`by mistake`が意図せず「間違い」を犯すことを指すのに対し、`by chance`は意図せず「偶然に」何かが起こることを指します。`I met an old friend by chance.`（偶然、旧友に会った）。このニュアンスの違いを理解しておきましょう。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④の`nothing but`～`で、「ただ～だけ、～にすぎない」という意味です。`only`とほぼ同じ意味で、それ以外のものは何もないことを強調します。`I want nothing but the truth.`（私は真実だけが知りたい）。他の選択肢は、①`anything but`～`が「決して～ではない」、②`more than`～`が「～より多い」、③`less than`～`が「～より少ない」という意味です。

◆補足：`nothing but`と`anything but`は形が似ていますが、意味は正反対なので注意が必要です。`His words were nothing but lies.`（彼の言葉は嘘にすぎなかった）。`His story was anything but boring.`（彼の話は決して退屈ではなかった）。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③の`see a doctor`で、「医者に診てもらふ、診察を受ける」という意味の決まった言い方です。病气やけがの際に、専門家である医者や看護師の診断や治療を受けることを表します。`You look pale. You should probably see a doctor.`（顔色が悪いですよ。医者や看護師に診てもらった方がいいでしょう）。他の選択肢は、①`meet a doctor`が「医者や看護師に（約束して、または偶然）会う」、②`look a doctor`は不自然な表現、④`watch a doctor`が「医者（の動き）を見る」という意味で、診察を受けるという意味にはなりません。

◆補足：`see`には「～に会う」の他に、医者や弁護士などの専門家に「相談する、診てもらふ」という特別な用法があります。`If the problem persists, you should see a specialist.`（もし問題が続くようなら、専門医に診てもらふべきです）。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④の`with care`で、「注意深く、丁寧に」という意味です。これは副詞の`carefully`とほぼ同じ意味で、物事を慎重に、細心の注意を払って行う様子を表します。`The antique vase must be handled with great care.`（そのアンティークの花瓶は細心の注意を払って扱わなければならない）。他の選択肢は、①`with ease`が「容易に、楽々と」、②`with courage`が「勇気をもって」、③`with confidence`が「自信をもって」という意味です。

◆補足：`with + 抽象名詞`の形は、副詞と同じ働きをします。この形を覚えておくと、表現の幅が広がります。例えば、`with patience`は`patiently`（忍耐強く）、`with skill`は`skillfully`（巧みに）とほぼ同じ意味を表します。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②「伝統的な」です。`traditional`は形容詞で、昔からその社会や文化で受け継がれてきた考え方、食べ物、服装、行事などを説明するときに使います。`Many people wear traditional costumes during the festival.`（多くの人々がその祭りの間、伝統的な衣装を身につける）。①「国際的な」は`international`、③「個人的な」は`personal`、④「現代的な」は`modern`で、`traditional`の対義語にあたります。

◆補足：この単語は、名詞の`tradition`（伝統）に`-al`がついて形容詞になった形です。このように、単語の成り立ちを知ると、語彙を効率的に増やすことができます。`tradition`（名詞）と`traditional`（形容詞）をセットで覚えましょう。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①の`discover`で、「～を発見する」という意味の動詞です。それまで知られていなかった物事、事実、場所などを初めて見つけ出すことを表します。`The scientist discovered a new method of generating energy.`（その科学者はエネルギーを生成する新しい方法を発見した）。他の選択肢は、②`discuss`が「～を議論する」、③`discourage`が「～を落胆させる」、④`cover`が「～を覆う」という意味です。

◆補足：`discover`と`invent`（発明する）の違いが重要です。`discover`はすでに存在していたものを見つけて出すこと（例：`Columbus discovered America.`）、`invent`は新しいものを創造すること（例：`Edison invented the light bulb.`）です。名詞形は`discovery`（発見）です。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③の`dizzy`で、「めまいがする、目が回る、くらくらする」という意味の形容詞です。`I felt dizzy after riding the roller coaster.`（ジェットコースターに乗った後、めまいがした）。他の選択肢は、①`busy`が「忙しい」、②`lazy`が「怠惰な、面倒くさがるの」、④`crazy`が「夢中な、正気でない」という意味です。

◆補足：`feel dizzy`の形で「めまいがする」と表現するのが一般的です。名詞形は`dizziness`（めまい）です。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するのに苦労する」です。`have difficulty (in) doing`は、「～するのが難しい、～するのに困難が伴う」という意味の熟語です。`difficulty`は「難しさ、困難」を意味する名詞です。この構文では、`difficulty`の後に前置詞`in`が省略され、動名詞（-ing 形）が続くのが特徴です。`She had difficulty getting a visa to work abroad.`（彼女は海外で働くためのビザを取得するのに苦労した）。②「～するのが難しい」は`it is difficult to do`、③「～するのが面倒だ」は`be bothered to do`、④「～する時間がある」は`have time to do`が適切な表現です。

◆補足：同じ意味で`have trouble doing`という表現も非常によく使われます。`difficulty`は数えられない名詞なので、`a`を付けたり複数形にしたりしないのが基本です。`have great difficulty doing`（～するのに大変苦労する）。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④の`experience`で、名詞として「経験、体験」、動詞として「～を経験する、体験する」という二つの意味を持ちます。名詞の例: `He has a lot of experience as a salesperson.` (彼は販売員として豊富な経験がある)。動詞の例: `Many people experienced financial difficulties during the recession.` (多くの人々が不況の間に経済的困難を経験した)。他の選択肢は、①`experiment`が「実験」、②`expert`が「専門家」、③`expression`が「表現」という意味です。

◆補足: `experience`が名詞として使われる場合、個々の具体的な体験を指すときは数えられる名詞(`a frightening experience` 怖い体験)、知識や技能の元となる経験全般を指すときは数えられない名詞として扱われます。形容詞形は`experienced` (経験豊富な) です。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②の`ache`で、名詞として「(持続的な) 痛み」、動詞として「痛む」という意味を持ちます。`headache` (頭痛)、`stomachache` (腹痛)、`toothache` (歯痛)、`backache` (腰痛) のように、体の部位を表す単語と結びついて使われることが非常に多いです。`I have a dull ache in my shoulder.` (肩に鈍い痛みがある)。他の選択肢は、①`each`が「それぞれ」、③`arch`が「アーチ」、④`ake`は存在しない単語です。

◆補足: `pain`も「痛み」ですが、`ache`が持続的な鈍い痛みを指すことが多いのに対し、`pain`はより一般的で、鋭い痛み(`a sharp pain`)も含む言葉です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④の`therefore`で、「それゆえに、その結果、だから」という意味の接続副詞です。前に述べた事柄を理由として、論理的な結論を導くときに使われます。`The train was delayed; therefore, I was late for the meeting.` (電車が遅延した。それゆえ、私は会議に遅れた)。他の選択肢は、①`however`が「しかしながら」(逆接)、②`moreover`が「その上」(追加)、③`otherwise`が「さもなければ」(条件)と、それぞれ文と文を異なる関係でつなぐ言葉です。

◆補足: `therefore`は`so` (だから) と意味が似ていますが、`therefore`の方がよりフォーマルで、論理的な因果関係を明確に示す、書き言葉で好まれる表現です。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③の`adult`で、「大人、成人」を意味します。法的に、また身体的・精神的に十分に成長した人を指します。`The movie is suitable for both adults and children.`（その映画は大人と子供の両方に適している）。他の選択肢は、①`adopt`が「～を採用する、養子にする」、②`adapt`が「～を適合させる」、④`addict`が「中毒者」という意味で、つづりが似ていますが意味は異なります。

◆補足：`adult`は形容詞として「大人の、成人向けの」という意味でも使われます。`adult education`（成人教育）。`grown-up`も「大人」を意味する口語的な表現です。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「病気」です。`disease`は「疾患」という意味の名詞で、特に、体の一部または全体が正常に機能しない、深刻な、あるいは長期にわたる病気を指すことが多いです。`Regular checkups can help in the early detection of diseases.`（定期的な健康診断は病気の早期発見に役立つ）。①「死」は`death`、②「安楽、容易さ」は`ease`、③「減少」は`decrease`です。

◆補足：`illness`や`sickness`も「病気」ですが、`disease`はより医学的で、特定の原因や症状を持つ疾患というニュアンスが強いです。コロケーションとしては、`heart disease`（心臓病）、`a contagious disease`（伝染病）、`prevent disease`（病気を予防する）などがあります。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「一般的に、たいてい」です。`generally`は副詞で、例外はあるかもしれないが、ほとんどの場合に当てはまることを示します。`Generally speaking, the climate here is mild.`（一般的に言って、この気候は穏やかだ）。①「寛大に」は`generously`、②「徐々に」は`gradually`、③「誠実に、純粋に」は`genuinely`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`generally`は`usually`や`in general`とほぼ同じ意味で使えます。形容詞形は`general`（一般的な、全体の）です。`a general idea`（大まかな考え）。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③の`victim`で、犯罪、事故、災害、病気などによって害を受けたり、命を落としたりした「犠牲者、被害者」を意味します。`Rescue teams are working hard to help the flood victims.`（救助隊は

洪水の被災者を助けるために懸命に活動している)。他の選択肢は、①`victor`が「勝者、勝利者」、②`volunteer`が「ボランティア」、④`visitor`が「訪問者」という意味です。

◆補足：`fall victim to ~`で「～の犠牲になる」という形でよく使われます。`Many elderly people fall victim to fraud.`（多くの高齢者が詐欺の被害にあっている）。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を改善する、良くなる」です。`improve`は「～を改善する、改良する」という他動詞と、「良くなる、進歩する」という自動詞の両方の意味を持つ動詞です。物事の状態をより良いものにすることを示します。`I want to improve my communication skills.`（私はコミュニケーション能力を向上させたい）。`His condition is gradually improving.`（彼の容態は徐々に良くなっている）。①「～を証明する」は`prove`、③「～を含める」は`include`、④「～をほのめかす」は`imply`です。

◆補足：名詞形は`improvement`（改善、進歩）です。`There is always room for improvement.`（改善の余地は常にある）は、よく使われる表現です。「改善する」という点で`make ~ better`と似ていますが、`improve`の方がよりフォーマルな響きがあります。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の`urgent`で、「緊急の、差し迫った」という意味の形容詞です。すぐに対応する必要がある、非常に重要で切迫した状況を表します。`This is an urgent request for medical supplies.`（これは医療品の緊急要請です）。他の選択肢は、①`urban`が「都市の」、②`usual`が「いつもの」、③`ugly`が「醜い」という意味です。

◆補足：名詞形は`urgency`（緊急性、切迫）です。`a sense of urgency`（切迫感）。`an urgent phone call`（緊急の電話）や`urgent business`（急用）といったコロケーションで使われます。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「不可能な」です。`impossible`は、「ありえない、実行不可能な」という意味の形容詞です。`possible`（可能な）に、否定を表す接頭辞`im-`が付いた形です。物理的に、あるいは論理的に実行できないことを示します。`It is impossible for humans to live without water.`（人間が水なしで生きることが不可能だ）。②「可能な」は`possible`で、`impossible`の対義語です。③「重要な」は`important`、④「人気のある」は`popular`です。

◆補足：`Mission: Impossible`（ミッション：インポッシブル）という映画のタイトルで有名ですね。名詞形は`impossibility`（不可能性）です。`im-`は`b, m, p`の前で`in-`が変化した形で、`impolite`（無作法な）や`impatient`（我慢できない）などの例があります。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の`lifestyle`で、「生活様式、ライフスタイル」を意味します。`life`（生活）と`style`（様式）が組み合わさった単語で、個人やグループの暮らし方を指します。`Regular exercise is part of a healthy lifestyle.`（定期的な運動は健康的な生活様式の一部だ）。他の選択肢は、①`lifetime`が「一生、生涯」、②`lifeline`が「命綱、ライフライン」、③`life-size`が「実物大の」という意味です。

◆補足：コロケーションとしては、`a healthy lifestyle`（健康的な生活様式）、`a modern lifestyle`（現代的な生活様式）、`a sedentary lifestyle`（座りがちな生活様式）など、様々な形容詞と共に使われます。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③の`take a deep breath`で、「深呼吸をする」という意味です。リラックスしたり、気持ちを落ち着けたり、あるいは何かを始める前の準備として、深く息を吸い込むことを表します。`Before you start your speech, take a deep breath.`（スピーチを始める前に、深呼吸をしてください）。他の選択肢は、①`have a deep sleep`が「深く眠る」、②`make a deep sigh`が「深いため息をつく」、④`get a deep thought`は不自然な表現です。

◆補足：`breath`は「息」、`take a breath`で「一息つく」となります。`deep`（深い）が付くことで「深呼吸」となります。緊張している人に対して、`Just take a deep breath.`（まあ深呼吸して）と声をかけることもできます。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の`have a sore throat`で、「のどが痛い」という意味です。`sore`は「（炎症などで）痛い、ヒリヒリする」という意味の形容詞で、`throat`は「のど」です。風邪の症状などを説明する際に使います。`I have a sore throat and a slight fever.`（私はのどが痛くて、微熱があります）。他の選択肢は、①`have a stomachache`が「腹痛がする」、③`have a headache`が「頭痛がする」、④`have a toothache`が「歯が痛い」という意味です。

◆補足：体の痛みや不調を表すときは、`have a/an + 症状`の形がよく使われます。`I have a cold.`（風邪をひいている）。`I have a cough.`（咳が出る）。`sore`は他にも`sore muscles`（筋肉痛）や`a sore back`（背中痛み）のように使えます。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①の`amount`で、「量、額、総額」を意味します。特に、水や時間、お金といった、数えられない名詞の量や、お金の合計額を表すのに使われます。`He inherited a large amount of money.`（彼は多額のお金を相続した）。他の選択肢は、②`account`が「口座、説明」、③`count`が「数えること」や「伯爵」、④`mount`が動詞で「～に登る」という意味です。

◆補足：`an amount of ~`の形で「ある量の～」と表現します。`the total amount`（総額）。「数」を表す`number`との使い分けが重要です。`a large amount of information`（大量の情報）、`a large number of people`（多くの人々）。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be in (the) hospital`で、「入院している」という意味です。病気やけがの治療のために、患者として病院に滞在している状態を表します。`He had an accident and has been in the hospital since last week.`（彼は事故に遭い、先週から入院している）。他の選択肢は、①`go to the hospital`が「病院へ（診察などに）行く」、③`be at the hospital`が単に「病院という場所にいる」（見舞い客なども含む）、④`visit the hospital`が「病院を訪れる」という意味です。

◆補足：アメリカ英語では`be in the hospital`、イギリス英語では`the`を付けずに`be in hospital`と言うのが一般的です。`be hospitalized`も「入院する」という意味の動詞として使われます。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「(人) が驚いたことには」です。`to one's surprise`は、文頭や文中に置かれ、予期せぬ出来事が起こったことを示す表現です。`one's`の部分には`my`, `his`, `her`などの所有格が入り、誰が驚いたのかを示します。`To my surprise, she knew my name.`（私が驚いたことに、彼女は私の名前を知っていた）。①「喜んだことには」は`to one's joy`、②「安心したことには」は`to one's relief`、③「がっかりしたことには」は`to one's disappointment`です。

◆補足：この`to`は感情の方向を示しています。`surprise`は名詞で「驚き」です。他にも`to my delight`（喜んだことに）、`to my sorrow`（悲しいことに）など、様々な感情を表す名詞と組み合わせることができます。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「(食事)を出す、～に仕える」です。`serve`は、主に「(食事や飲み物)を出す、供給する」または「(人や組織)に仕える、奉仕する、役立つ」という意味の動詞です。`They serve breakfast from 7 a.m. to 10 a.m.`（彼らは午前7時から10時まで朝食を提供している）。`This machine serves a useful purpose.`（この機械は有用な目的に役立っている）。①「～を予約する」は`reserve`、②「～を保存する」は`preserve`、④「～を観察する」は`observe`です。

◆補足：名詞形は`service`（サービス、奉仕）です。`self-service`（セルフサービス）。テニスやバレーボールでボールを打って試合を始める「サーブ」もこの`serve`から来ています。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の真ん中に、～の最中に」です。`in the middle of`～`は、場所的な中央だけでなく、時間的な「真っ最中」を表すこともできる便利な表現です。`There is a big lake in the middle of the forest.`（その森の真ん中に大きな湖がある）。`She called me right in the middle of my favorite TV show.`（彼女は私が大好きなテレビ番組のまさに最中に電話してきた）。②「～の前に」は`in front of`～、③「～にもかかわらず」は`in spite of`～、④「～の代わりに」は`instead of`～`です。

◆補足：`middle`は「真ん中、中央」を意味する名詞です。`the middle of the road`（道路の中央）や`the middle of the night`（真夜中）のように、場所・時間を問わず使われます。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「診療所、クリニック」です。`clinic`は、入院設備がないか、あっても小規模な医療施設を指します。比較的軽度の病気やけがを診たり、歯科（`a dental clinic`）や眼科（`an eye clinic`）のように特定の分野を専門としたりすることが多いです。`The clinic is closed on Sundays.`（その診療所は日曜日は閉まっています）。①「薬局」は`pharmacy`や`drugstore`、③「臨床の」は形容詞の`clinical`、④「絶壁」は`cliff`です。

◆補足：大規模な入院設備や様々な診療科を持つ「(総合) 病院」は`hospital`と呼び、`clinic`とは区別されます。`walk-in clinic`は「予約なしで入れる診療所」です。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「…だと聞いて残念です」です。`I'm sorry to hear that…`は、相手から良くない知らせや残念なニュースを聞いたときに、「お気の毒に」と同情や慰めの気持ちを表すための決まった言い方です。この`sorry`は「ごめんなさい」という謝罪ではなく、「気の毒に思う、残念に思う」という意味で使われています。②「…だと聞いてうれしいです」は`I'm happy/glad to hear that…`、③「…だと聞いて驚きました」は`I'm surprised to hear that…`、④「…とは知りませんでした」は`I didn't know that…`が適切な表現です。

◆補足：相手が病気になった、試験に落ちた、何かを失くしたなど、良くない知らせに対して、会話を始めるためのクッション言葉として非常によく使われます。`that`は省略されることもあります。`A: I failed the exam. B: Oh, I'm sorry to hear that.` (A: 試験に落ちたんだ。 B: それは残念だったね)。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「失敗する、不合格になる」です。動詞の`fail`は、「失敗する、うまくいかない」または「(試験などに) 落ちる、不合格になる」という意味です。`Even the best teams sometimes fail.` (最高のチームでさえ、時には失敗する)。`I'm worried that I might fail the math exam.` (私は数学の試験に落ちるかもしれないと心配している)。①「(物理的に) 落ちる」は`fall`、②「感じる」は`feel`、④「満たす」は`fill`です。

◆補足：名詞形は`failure` (失敗) です。`fail to do`の形で「～しそこなう、～できない」という意味でも非常によく使われます。`The brakes on the car failed to work.` (その車のブレーキは作動しなかった)。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を受け入れる」です。動詞の`accept`は、贈り物、招待、提案、謝罪などを快く、あるいは正式に「受諾する、受け入れる」ことを表します。`He accepted my apology.` (彼は私の謝罪を受け入れた)。①「～を除いて」は前置詞の`except`、③「～に接近する」は動詞の`access`や`approach`、④「～を達成する」は`achieve`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`accept`の対義語は`refuse`（～を断る）です。名詞形は`acceptance`（受諾、受け入れ）です。`Please accept our sincere apologies.`（私たちの心からのお詫びをお受けください）のように、フォーマルな文脈でもよく使われます。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を注文する、～に命令する」です。動詞の`order`は、主に二つの意味があります。一つは、レストランや店で「～を注文する」という意味です。もう一つは、特に軍隊などで、上位の者が「～に命令する」という意味です。`Are you ready to order?`（ご注文はお決まりですか?）。`The general ordered his troops to attack.`（将軍は部隊に攻撃を命じた）。①「～を提供する」は`offer`、②「～を飾る」は`decorate`、③「～を組織する」は`organize`です。

◆補足：`order`は名詞として「注文」や「命令」、そして「順序、秩序」という意味も持ちます。`in order to do`（～するために）という目的を表す重要表現も必ず覚えておきましょう。`out of order`で「故障中」となります。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「～しそうにない」です。`be unlikely to do`は、「～する見込みが低い、～するとは思えない」という意味です。`likely`（ありそうな）に否定の接頭辞`un-`が付いており、物事が起こる可能性が低いことを示します。`The team is unlikely to win the championship this year.`（そのチームが今年、選手権で優勝する見込みは低い）。①「～しそうである」は`be likely to do`で、対義表現です。②「～することができない」は`be unable to do`、④「～することになっている」は`be supposed to do`です。

◆補足：`It is unlikely that ...`という形で「…ということはあるにない」と表現することもできます。`It is unlikely that he will arrive on time.`（彼が時間通りに到着する見込みは低い）。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①の`advise`で、「～に助言する、忠告する」という意味の動詞です。専門的な知識や経験に基づいて、どうすべきか意見を述べることを表します。`He advised me to invest in the stock market.`（彼は私に株式市場に投資するよう助言した）。他の選択肢は、②`advice`が名詞で「助言」、③`advertise`が動詞で「～を広告する」、④`admire`が動詞で「～に感心する」という意味です。

◆補足：`advise`（動詞、発音は/ədvaɪz/）と`advice`（名詞、発音は/ədvaɪs/）は、スペルと発音、品詞が全て異なるため、明確に区別して覚える必要があります。`advise 人 to do`で「人に～するよう助言する」という形を覚えておきましょう。名詞形は`advice`と`adviser/advisor`（助言者、顧問）です。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③の`wake`で、自動詞として「目が覚める」、他動詞として「～を起こす」という二つの意味があります。`What time do you usually wake up in the morning?`（朝はたいてい何時に目が覚めますか?）。`Can you wake me up at 6:30?`（6時半に起こしてくれますか?）。他の選択肢は、①`walk`が「歩く」、②`weak`が「弱い」、④`week`が「週」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：`wake up`という句動詞の形で使われることが非常に多いです。`wake`と`wake up`はほぼ同じ意味ですが、`wake up`の方がより一般的で口語的です。活用は`wake - woke - woken`と不規則に変化します。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①の`skin`で、「皮膚、肌」を意味します。体全体を覆っている外皮を指す最も基本的な単語です。`This lotion is good for dry skin.`（このローションは乾燥肌に良い）。他の選択肢は、②`skeleton`が「骸骨、骨格」、③`skull`が「頭蓋骨」、④`spine`が「背骨」と、それぞれ体の異なる部分を指す単語です。

◆補足：`skin care`（スキンケア）という言葉は日本語にもなっていますね。コロケーションとしては`sensitive skin`（敏感肌）や`smooth skin`（すべすべの肌）などがあります。また、`a banana skin`のように、果物や野菜の「皮」も`skin`と言います。
